

文部科学省における 「安全の確保」への取組み

平成 15年 11月 27日

文部科学省

目次

- **基本的な考え方**
 - (1) 安全の確保」における衛星の役割
 - (2) 安全の確保」に資する衛星利用の課題

- **文部科学省における取組み状況**
 - (1)国際災害チャータ
 - (2)地球観測衛星の活用
 - (3)通信・測位衛星の活用

基本的な考え方

- ◆ 人々が安心して心豊かに暮らすため、国際的な紛争や大規模災害から生命や財産を守り、**我が国の安全の確保**を図ることは、**国家の最重要課題**である。
- ◆ この責務を果たすため、宇宙という場を利用した活動により、地上システムとの連携、又は、補完関係を構築しつつ、**安全で安心な社会の構築**に寄与する。
- ◆ 人工衛星による観測システムは、大規模地震や火山噴火等の災害状況把握においては、地上のみの観測システムに比べ**災害の被害を受けにくく、定期的に観測データを得る**ことができ、災害時の応急支援対策、災害後の復旧・復興対策に有効な手段である。
- ◆ 衛星観測データが果たす役割は拡大しつつあり、衛星観測データの**提供機関と利用機関が密接に連携し、必要なデータを容易にかつ効率的に利用できるシステムの構築**が不可欠である。